

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		市民体育館整備管理事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	6161	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	スポーツ基本法・深谷市立体育館条例				
	小項目	3	スポーツ・レクリエーションの推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる市民体育館施設を適正に維持管理するものである。								
目的 ※何のために		市民体育館利用者に安全で快適な利用環境を提供するため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民体育館施設利用者								
手段 ※どのように		適正な貸館業務及び定期的な施設清掃等の維持管理を行う。								
成果 ※何を求めるか		地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる施設の整備・充実を目指す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	6	保健体育費	2	体育館管理費	市民体育館整備管理事業〔生涯学習スポーツ振興課〕	33,000
		一般会計	10	教育費	6	保健体育費	2	体育館管理費	市民体育館整備管理事業〔教育施設課〕	1,034,000
本事業の 主な業務		・施設の管理運営							・	
		・利用団体調整会議の実施施設維持管理・利用許可							・	
									・	
									・	
									・	
									・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・小規模修繕・清掃、電気工作物保安業務委託、消耗品購入・光熱水費の支払い	・小規模修繕・清掃、電気工作物保安業務委託、消耗品購入・光熱水費の支払い	・小規模修繕・清掃、電気工作物保安業務委託、消耗品購入・光熱水費の支払い	・小規模修繕・清掃、電気工作物保安業務委託、消耗品購入・光熱水費の支払い	・解体工事設計業務委託	・解体工事
事業費	予算(現額)	1,097,000	1,011,000	3,641,000	789,000	1,725,000	0
	決算額	765,403	691,854	3,179,382	402,523	1,067,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	765,403	691,854	587,939	1,034,000	0
		一般財源	0	0	2,591,443	33,000	0
人件費	従事職員数(人)	0.60	0.45	0.45	0.40	0.38	0.00
	人件費相当試算※	4,667,400	3,501,900	3,537,450	3,254,400	2,949,528	0
総事業費試算		5,432,803	4,193,754	6,716,832	3,656,923	4,016,528	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	施設開館日数	目標値	日	359	359	359	0	0	0	
		実績値	359	359	360	227	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市立体育館条例による / 利用許可申請書・日誌による							
	実績値の算出式									
活動指標 2	施設利用登録団体数	目標値	団体	80	5	5	0	0	0	
		実績値	44	4	4	4	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 団体登録申請書による							
	実績値の算出式									
成果指標 1	施設管理上の苦情・事故件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		施設の管理上、苦情・事故件数については、0件が最適なため / 業務安定システム事務処理対応表							
	実績値の算出式									
成果指標 2	施設利用件数	目標値	件	1700	150	150	0	0	0	
		実績値	1494	242	149	103	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 利用許可申請書・日誌による							
	実績値の算出式									
成果指標 3	施設使用料収入	目標値	千円							
		実績値	768	90	26	37	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	解体工事に向けて設計業務や環境整備を行った。解体工事までの期間の環境整備をしていく必要がある。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	解体工事に向けて設計業務を行った。解体工事までの期間の環境整備をしていく必要がある。
			評価者 生涯スポーツ係長 高野 学

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	C	施設の廃止により令和4年度での解体が決定しているため、事業統合する。
			評価者 生涯スポーツ係長 高野 学

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	市民体育館整備管理事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	6161
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		引き続き跡地利用について関係部署と検討していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

